2011年度 第2四半期決算及び通期業績見通し 説明資料



星光PMC株式会社 2011年11月22日



目次

◇ 事業概要	P2
◇ 当期の事業環境	P3
♦ 1. 2011年度 第2四半期決算	P4~8
◇ 2. 2011年度 通期業績見通し	P9~11
◇ 経営戦略	P12~16
◆ 中国での事業展開について	P17

<予想に関する注意事項>

本資料では、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではございません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しでございますが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではございません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。 本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって 生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うもの ではございません。



• 製紙用薬品事業

サイズ剤 紙力増強剤 印刷適性向上剤 製紙用補助薬品



紙 新聞用紙 印刷・情報用紙

家庭紙 他

板紙 段ボール原紙

紙器用紙 他

• 樹脂事業

各種印刷インキ用樹脂

オフセットインキ グラビアインキ 新聞インキ フレキソインキ

記録材料用樹脂

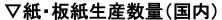


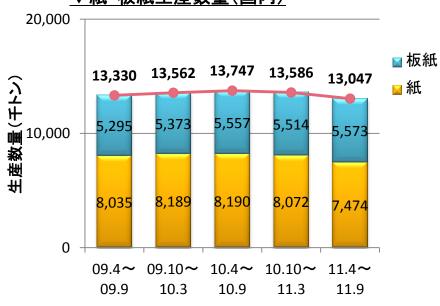
トナー





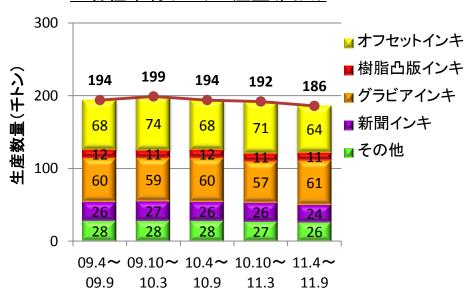






(出典:日本製紙連合会統計資料)

▽各種印刷インキ生産量(国内)



(出典:化学工業統計月報)



(1)決算の概況(連結)

・売上高:製紙用薬品は紙・板紙生産量の減少に伴い 減収に、樹脂事業はオフセットインキ用樹脂、記録材 料用樹脂が堅調に推移し増収に

・営業利益:原料価格高騰により減益に

【百万円】

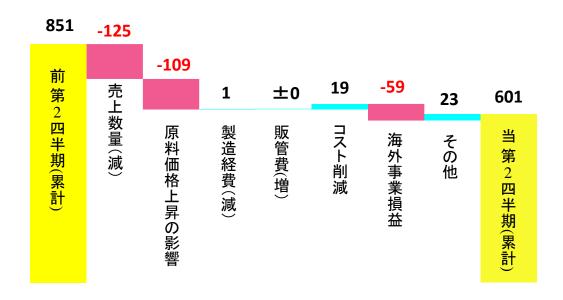
	前第2四半 期(累計)	当第2四半 期(累計)	増減	増減率 (%)
売上高	11,445	11,623	+178	+1.6
営業利益	851	601	-250	-29.4
営業利益率	7.4%	5.2%	-2.2%	ı
経常利益	866	613	-253	-29.2
経常利益率	7.6%	5.3%	-2.3%	-
当期純利益	506	363	-143	-28.3





(2)営業利益増減内訳

前第2四半期(累計)→当第2四半期(累計) 851 → 601百万円 (-250百万円 -29.4%)



- ・国内製紙用薬品事業の売上数量減による影響 = -125百万円
- ・原料価格上昇による影響 = -109百万円
- •海外(中国)での原料価格上昇等による収支悪化 = -59百万円



(3)セグメント別 売上高・営業利益比較(対 前期)

【百万円】

		前 第2四半 期(累計)	当 第2四半 期(累計)	増減	増減率
	売上高※	8,371	8,111	-260	-3.1%
	(国内)	7,686	7,431	-255	-3.3%
制纸田茶口市米	(海外)	696	710	+14	+2.0%
製紙用薬品事業	営業利益※	744	387	-357	-48.0%
	(国内)	768	480	-288	-37.5%
	(海外)	-22	-81	-59	-
ttt ich **	売上高	3,074	3,512	+438	+14.2%
樹脂事業 	営業利益	107	214	+107	+100.0%
\± 4+	売上高	11,445	11,623	+178	+1.6%
連結	営業利益	851	601	-250	-29.4%

※連結調整を含む



▽連結損益計算書

▽主な経費項目

【百万円】

【百万円】

	前 第2四半期(累計)		当 第2四≐	半期(累計)	増減
売上高	11,446	100.0%	11,623	100.0%	+178
売上原価	8,681	75.8%	9,168	78.9%	+486
売上総利益	2,764	24.1%	2,455	21.1%	-309
販管費	1,913	16.7%	1,855	16.0%	-58
営業利益	851	7.4%	601	5.2%	-250
営業外損益	15	0.1%	12	0.1%	-3
経常利益	866	7.6%	613	5.3%	-253
特別損益	-43	-0.4%	-20	-0.2%	+23
税引前利益	823	7.2%	593	5.1%	-230
法人税等	317	2.8%	230	2.0%	-87
当期純利益	506	4.4%	363	3.1%	-143

	前 第2四半 期(累計)	当第2四半 期(累計)	増減
人件費合計額	2,302	2,316	+14
減価償却費合計額	583	520	-63
設備投資額	271	247	-24
研究開発費 対売上高比率	759 6.6%	770 6.6%	+11



▽連結貸借対照表

【百万円】

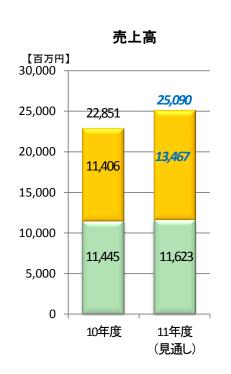
							F 11 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
	前期末	当第2 四半期末	差異		前期末	当第2 四半期末	差異
流動資産	15,130	15,702	+571	流動負債	6,250	6,348	+98
現金及び預金	489	739	+249	仕入債務	3,572	3,701	+129
売上債権	8,417	8,955	+538	短期借入金	1,100	1,100	0
棚卸資産	3,117	3,455	+338	その他	1,578	1,547	-31
その他	3,107	2,553	-554				
固定資産	10,981	10,684	-297	固定負債	559	492	-67
有形固定資産	9,736	9,487	-249	長期借入金	-	-	-
無形固定資産	158	148	-9	退職給付引当金他	559	492	-67
投資その他の資産	1,087	1,049	-39	負債合計	6,809	6,840	+31
				資本金	2,000	2,000	0
				資本剰余金	1,566	1,566	0
				利益剰余金	15,978	16,174	+196
				自己株式	-104	-104	0
				評価換算差額等	-138	-90	-47
				純資産合計	19,302	19,545	+243
資産合計	26,112	26,386	+274	負債·純資産合計	26,112	26,386	+274
				自己資本比率	73.9%	74.0%	+0.1%

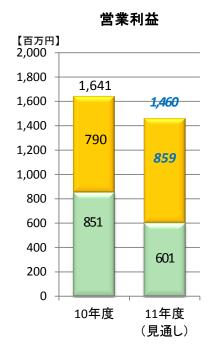


(1)通期業績見通し

【百万円】

	2010年度	2011年度 (見通し)	差異
売上高	22,851	25,090	+2,239
営業利益	1,641	1,460	-181
<営業利益率>	7.2%	5.8%	-1.4%
経常利益	1,677	1,520	-157
<経常利益率>	7.3%	6.1%	-1.2%
当期純利益	1,079	1,000	-79
ROE	5.7%	5.2%	-0.5%
設備投資額	647	1,026	+379
減価償却費	1,185	1,185	-
EBITDA	2,826	2,645	-181
配当(円/株)	11.0	11.0	0







(2)営業利益増減内訳

10年度 → 11年度(見通し)

1,641 → 1,460百万円 (-181百万円 -11.0%)

1,641	-178			20			
		19	-8	39	-82	29	1,460
10年度	売上数量(減)	製造経費(減)	販管費(増)	コスト削減	海外事業損益	その他	11年度(見通し)

- ・国内製紙用薬品事業の売上数量減による影響 = -178百万円
- ・海外(中国)での原料価格上昇等による収支悪化 = -82百万円

2. 2011年度 通期業績見通し



(3)セグメント別 業績見通し

【百万円】

		2010年度	2011年度 見通し	増減	増減率
	売上高※	16,669	17,999	+1,330	+8.0%
	(国内)	15,257	16,319	+1,062	+7.0%
制紅田茶口車業	(海外)	1,466	1,710	+244	+16.6%
製紙用薬品事業 	営業利益※	1,400	1,104	-296	-21.1%
	(国内)	1,467	1,273	-194	-13.2%
	(海外)	-59	-141	-82	-
+++ 10- 由 **	売上高	6,182	7,091	+909	+14.7%
樹脂事業 	営業利益	241	356	+115	+47.7%
ゝ	売上高	22,851	25,090	+2,239	+9.8%
連結 	営業利益	1,641	1,460	-181	-11.0%

※連結調整を含む



(1)製紙用薬品事業

技術力でアジアナンバーワンの製紙用薬品会社を目指す

- 紙力増強剤・サイズ剤などの主力製品の高性能化、新規ニーズ に対応した高機能製品の開発
- 板紙アルカリ抄紙に代表される新規薬品システムの提案
- 中国市場での製紙用薬品の拡販
- 排水処理用微生物製剤の独自技術サポートによる販売



(2)インキ用・記録材料用樹脂事業

環境対応・高機能化によって高収益体質に事業構造を変える

- 記録材料用高付加価値製品の開発
- 環境対応水性インキ用樹脂の応用展開
- ユーザーニーズに対応するオフセットインキ用樹脂の開発と生産 の合理化
- 電子材料用途、建築塗料用途への展開



(3)新規事業

開発テーマの選定→事業化

- 当社コア技術を深化・拡張しエレクトロニクス、自動車分野に展開
 - →導電性樹脂
 - →感光性樹脂
 - ▶セルロースナノファイバー強化樹脂複合材料

(4)

生産性向上・合理化によるコストダウン



機能性材料をエレクトロニクス分野に展開

トレンド

- ・レアアース問題
- ・低コスト化
- -高品質化
- •高意匠性化
- -ニーズの多様化



要素技術

- •高分子合成技術
- •配合技術
- •評価技術



機能性材料

- •導電性材料用途例)
 - ①透明電極
 - ②伝熱•放熱
- ・感光性材料 光を当てると硬化したり、 特殊な機能を発現する 材料

アプリケーション 例



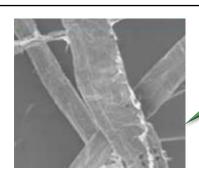
NEDO・グリーンサステイナブルケミカルプロセス基盤技術開発

セルロースナノファイバー強化による 自動車用高機能化グリーン部材の研究開発

目的

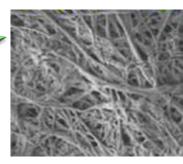
セルロースナノファイバー(CNF)補強プラスチックを用いた自動車用部材の開発





解繊

木材繊維(パルプ) 繊維径:数十<u>μ m</u>



セルロースナノファイバー (CNF)

|繊維径:数十<u>nm</u>

【CNFの特徴】軽量・高強度・低熱膨張(鋼鉄の1/5の軽さで鋼鉄並みの強度)

実施体制

京都大学、京都市産業技術研究所、三菱化学、DIC、王子製紙

星光PMCはDICグループの一員としてプロジェクトに参加



中国の紙生産数量は、2010年で92百万トンと日本の27百万トンを大きく上回り、 世界第2位の米国(75百万トン)を大きく引き離した。

また、品質水準も年々向上し、製紙用薬品へのニーズも高まっております。

当社の中国事業

- 1. 現地生産会社:
 - 星光精細化工(張家港)有限公司
 - •2006年5月生産開始
 - (1)資本金: 1, 450万USドル(当社100%出資)
 - (2)場所:江蘇省張家港市
 - 面積:約4万㎡
 - (3)生産品目:製紙用紙力増強剤、製紙用サイズ剤 他生産能力:約4.5万トン/年
- 2. 現地販売会社:
 - 星悦精細化工商貿(上海)有限公司
 - •2006年3月設立
 - (1)資本金: 450万USドル(当社100%出資)
 - (2)場所:上海市
 - (3)2011年度の販売目標17億円

中国の紙・板紙生産量推移

